

## 目標達成計画

作成日: 平成 22 年 5 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	24	利用者の生活歴、詳細な情報が十分といえない状況である。プライバシーにも関する事で深くはいつての情報が乏しい。	本人との会話の中で語る事柄をまとめ知り得ることで本人の理解につながり、本人の出来る力が発揮できる環境を支援し、暮らしていただく。	利用者との対話の積み重ねで過去の正しい情報を引き出す。関係者の面会等を利用して生活歴を作り出す。本人の支援に結びつけることの理解を説明し情報の提供をいただく。	12ヶ月
2	35	義務付けられた防災訓練回数の実施のみとなっている。近隣住民の参加が実施できていない。	職員が防災意識をさらに認識する必要がある。災害時の近隣住民の協力をよびかける。	年間訓練の回数を多くする。訓練等に、地元の人に、回覧、ポスター等を利用し呼びかけ、参加をお願いする。	12ヶ月
3	14	同業者との交流が図られていない。	研修等を通じ同業者と関わりを深め交流、連携を図る。	グループホーム協北部支部の研修等の積極的な参加等で、他事業所との親睦を深める働きかけをする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。